



## 新平鹿病院周辺の 土地利用の方向性を問う

赤川 堅一郎 議員

### 新平鹿病院周辺について

**質問** 新平鹿病院周辺は無秩序な開発が懸念される。私権に及ぶ問題でもあり行政の関わりが鍵を握る。良好な環境の保持と効率的な街づくりの

観点からも市当局の土地利用に対する方向性は。また、周辺の交通安全対策は。

**答弁** 市全体の土地利用計画は長期的には市街地を基本的に拡大させない方針。新病院周辺は優良農地として位置づ

けられており都市計画マスタープランの中でもその方向で検討していく。また当地区は、民間開発需要が非常に高く見込まれており計画策定にあたって周辺の環境を十分に考慮していく。国道13号線の

見ない重厚で豪華なものと思っている。新しい横手市で売り出せる大きな観光資源であることは確かだ。市として必要な協力を惜しまず活用に向けて努力したい。景観保護については、地域の皆さんの合意形成があれば当市には「横手市山と川のある町景観のまちづくり条例」が制定されており、関係する皆様の要望などによって実施できるようになっている。熱意と情熱を持ちながら地域の活性化に結び付くよう努力するところには応援しなければならぬと思っている。

交差点部分の渋滞解消については当該路線の北側に左折専用路線を設けるよう車道拡幅を県に要望している。

②今後運営目的の助成は出来るだけスタート時点に限定したい。③業務に公の権限が伴うものは直営で行なう。それ以外は可能な限り導入の方向で取り組みたい。④行政品質向上活動を通じそれぞれのセクシオンでセミナーを実施するなど、課・室・所ごとに年度別目標を定めて職員の使命感やモチベーションの喚起を図っている。

### 行財政集中プランについて

**質問** 先に示された市行財政集中改革プランは国からの指導によるもので、本当の意味の改革は自分たちの身の丈にあつた生きる改革案にすべきである。次の点について伺う。  
①職員定数について。②市単独の補助金の制度について。③指定管理者制度について。④職員の意識改革について。

**答弁** ①職員数は平成32年には人口千人あたり7人が目標。その他の質問事項  
・ 所信説明について  
・ 県立衛生看護学院の移転開学に向けて  
・ 上真山地区まちづくりの早期着工を  
・ 地域要望について



## 埋れた資源「蔵」で 観光開発と景観保護を

佐々木 喜一 議員

### 観光政策について

**質問** 施政方針で示した観光に供する埋もれた資源の開発とは。また、増田に蔵の保護と活性化を目指して所有者を中心とした「蔵の会」が発足

したが市としてどう考えているか。また、景観保護のために条例などの制定はできないか。

**答弁** 新横手市にはそれぞれ地域の古い建造物や森や山、農業など、地元では気づかな

い他から評価される観光要素が十分ある。いわゆる知られざる観光資源が多くあると考える。これらを調査し整備することで観光誘客を図りたい。増田に残されている蔵については、その数とともに他に例

を

### 上水道行政について

**質問** 未給水地域への上水道の施工はどうするのか。

**答弁** 市全体の水収支を考慮したより効率的な事業推進のため、新しい水道事業計画に着手した。計画策定にあたっては未給水地域を対象にアンケートを実施し、使用動向を見極めながら、計画的効率的な施設整備を図る必要があると考える。